

地域便利

鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」オープン!

鈴鹿市から男女共同参画センター開館のレポートをいただきました。

私たちの街「鈴鹿」に県下で三番目の男女共同参画センターが誕生しました。公募で決まったセンターの愛称「ジェフリーすずか」には、ジェンダー・フリーな社会をつかっていこうという思いが込められています。

8月2日のオープンから3日間、市民実行委員28名とともに企画運営したオープニングフェスタでは、横浜女性フォーラム副館長、桜井陽子さんの基調講演を始め、法律・介護・ジェンダー・女性の労働・CAPなど多分野にわたるワークショップや講座、介護の映画「老親」の上映、ブラックライトシアター、誰でもクッキング、何でも相談（「職業生活と家庭生活の両立」「子育て・女性のからだ」）、グループ団体の活動紹介、アフガニスタンの写真展示、市内福祉施設の作品展示販売、地元商店街の協力によるスタンプラリーなど多彩なイベントを実施し、述べ630人の方に参加していただきました。



秋にはよいよ、センター初めての主催事業となる「ジェフリーセミナー」も開催の予定です。図書コーナーの充実やホームページの開設など課題はたくさんありますが、地域に親しみ、皆さんの活動の拠点として、また交流の場として多くの方に利用していただけるよう、魅力あるセンターづくりに職員一同心がけていきたいと思っていますので、皆さん、ぜひお越しください。

県内のイベント

Event Calendar

日程などは変更される場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

11月

12日(火)

ドメスティック・バイオレンスに関する討論会
場所/三重県男女共同参画センター(フレんてみえ)

●三重県・男女共同参画ネットワーク会議

講演と討論会

講師・発表者/ウィメンズカウンセリング京都代表 井上摩耶子、加藤熊一弁護士、各相談機関担当職員
三重県男女共同参画センター(フレんてみえ)

TEL:059-233-1130

Coffee Break

三重県出身演奏家シリーズ

三谷結子ソプラノ・リサイタル



三重県出身またはゆかりがあり、優れた人材を紹介する「三重県出身演奏家シリーズ」第4弾。今回は、三重県津市出身のソプラノ歌手・三谷結子が登場!

ウィーンに暮らして13年。96年にバーデン市立劇場でデビュー。その後、ヨーロッパでの数々の公演に出演後、今年の5月には、新国立劇場で上演されたオペレッタ「小島唄」でおちゃめなヒロインのクリステル役を演じ、待望の日本デビューを果たしました。

ぜひ、この機会に、ウィーンで認められたその声・表現力をご堪能下さい。

- 友情出演 / 田辺とおる (バリトン)
- ピアノ / 兼重直文
- 合唱 / 三重オペラ協会合唱団
- 日時 2002年12月23日(月・祝)
- 会場 三重県文化会館大ホール
- 開場 18:00 ●開演 18:30
- 入場料 全席自由 一般 2,000円 学生 1,000円
- チケット好評発売中
- チケット好評発売所 三重県文化会館チケットカウンター、チケットぴあ、県内レコード商組合加盟店など
- 主催 三重県、三重県教育委員会、(財)三重県文化振興事業団
- 協賛 (財)岡田文化財団
- お問い合わせ先 三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122

平成13年度フレんてみえ相談室のまとめ

◎各種相談利用状況

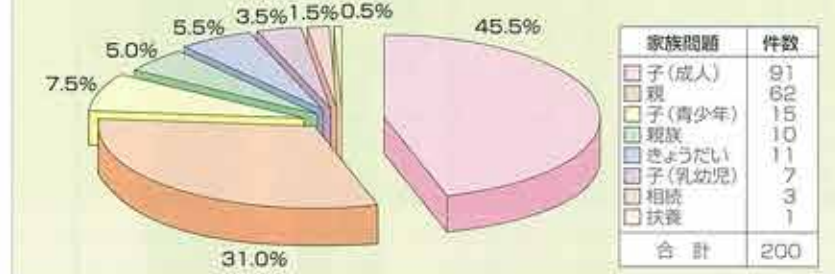
	電話相談	法律相談	女性のための性とかからの相談	面接相談	女性のことから性とかからの相談	男性のための相談	合計
件数	1,785	105	個人13 グループ100	98	29	10	2,140

電話相談項目別割合



◎フレんてみえの今年のテーマは「家族」です。

結婚後の自分たちと親世代が感じる習慣や価値観の違いからの息苦しさ。離婚問題で悩むカップルを取り巻く周囲の人たちの不安や悩み。実の両親や天の親たちとの自立的な関係の作り方。離れて住む親への日常的な支援ができないことへの悩みなどが寄せられています。



はい! フレんてみえ相談室です

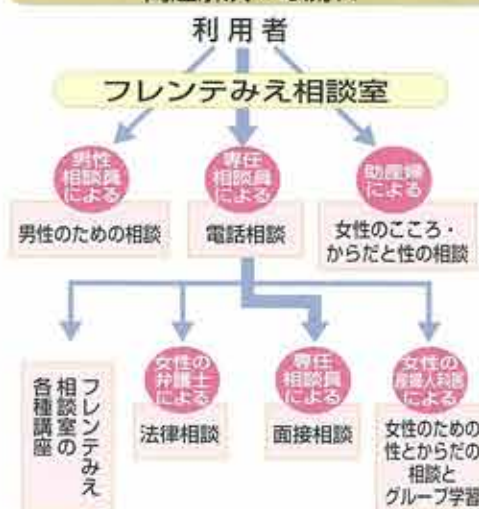
困ったなと思ったらひとりで悩まないで...まず電話相談のご利用を

電話だけでは解決がつかない場合、面接相談を利用することもできます。

さらに専門的な助言が必要な場合には、女性の弁護士、女性の産婦人科医師による専門相談も利用できます。

相談の内容によっては専門の相談機関を紹介します。

問題解決への流れ



内閣府男女共同参画局では、ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力の問題に対する社会における認識を更に深めていただくため、「女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク」を制定しました。

シンボルマークは、女性が腕をクロスさせた姿を描いており、女性の表情、握りしめたこぶし、クロスさせた腕により、女性に対する暴力を断固として拒絶する強い意志を表しています。



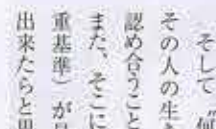
「女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク」

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク制定

編集委員雑記



★福岡張美 社会学という最小社会組織である「家族」が多様化し、変化していく様子を見つめることができました。



★小谷尚子 「家族の中には老いていく存在だけではなく、成長する存在が必要だと、子どもを持つとうとしなかった私の知人は、ある医師のことばに共感し、母になりました。成長していくのは子どもに限らないはず。いくつになっても成長し合える「家族」をつくれたら...



★瀧本佑里 フレんての編集が始まってから、テーマが「家族」ということもあり家族で話す機会が増えた我が家。フレんてを読んで下さった方も、これを機会に家族でお話してみませんか...話してみてもいいこと、きっとあると思います。



★山本 洋 「男女共同参画」を知ることから始まった私のフレんて編集活動。やることなすこと初めてのことはばかりで楽しい反面、不安もありましたが、他の編集委員の皆さんと読んでくださる方々と共に学び、そして考えていきたいと思います。